

油糧用ヒマワリ栽培の所得は 10アールあたり約17,000円以上が見込める

福島県農業総合センター 企画経営部経営・農作業科

1 部門名

農業経営 - 農業経営 - 作型・栽培型、経営診断、資源利用

2 担当者

引地力男・平山孝・朽木靖之

3 要旨

油糧作物としてヒマワリを栽培している須賀川市の事例をもとに、ヒマワリ栽培の経済性を評価した。

- (1) 油糧用ヒマワリの収量は、2008年現地実証の坪刈収量では189kg/10a、コンバインによる全刈収量は53kg/10a(倒伏面積5割程度)であり、収量目標は100～150kg/10a程度に設定できる。
- (2) 県外のヒマワリ油(食用)の販売事例では300ml一瓶あたり950円(720ml換算2,280円)であり、本事例でも720mlあたり1,500円で販売すること前提条件とした。
- (3) 油糧用ヒマワリを栽培した場合の所得を試算すると、実収水準の10aあたり50kgではマイナス、平均的な収穫量である100kgで16,982円、目標収量水準の150kgでは44,394円になり(表1)、ヒマワリの収量が100kg/10aであれば、ソバと同等の所得となることから、産地作り交付金や他の助成額を団地化されたソバ並みに変更し、生産振興を図る必要がある。

表1 ヒマワリ栽培の収益性(10a当たり)

科目\収穫量(kg)	50	100	150
種苗費	4,096		
肥料費	11,487		
農薬費	861		
動力光熱費	2,091		
土地改良水利費	7,165		
作業委託費	12,000		
施設費	[]		
機械費	[]		
租税公課	162		
流通経費	16,910	33,821	50,731
費用合計(円)	54,772	71,683	88,593
搾油率(%)	38.3		
搾油量(kg)	19.2	38.3	57.5
単価(円/kg)	2,315		
粗収益(円)	44,332	88,665	132,987
所得(円)	-10,440	16,982	44,394

【前提条件】

- 1 N生産組合の事例での収支。委託作業の内訳は、播種・収穫・乾燥調製である。施設・機械は作業委託のため個別農家は所有しない[表1]。
- 2 ヒマワリ油は720ml・1瓶1,500円を想定。
- 3 福島県農業経営(生活)計画策定指標(H12.12)及び現地聞き取り等を基に作成(ゴシック体:実測・聞き取り、斜体:指標)。ヒマワリの動力光熱費～租税公課は、作業内容がほぼ同じ大豆から引用。搾油率は播種時期や土壌条件に左右されるので注意を要する。
- 4 流通経費の内訳は、搾油代220円/原料kg、瓶及びラベル代200円/720mlである。

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2008)